

A様にとって安楽な姿勢とは ～ポータブルトイレでの座位の継続～

第三長上苑 高井紫央里

地域密着型介護老人福祉施設 第三長上苑



- ▶ 二階建て
- ▶ 定員29名
- ▶ 3ユニット

A様の紹介

- ▶ 83歳 女性 介護度5
- ▶ 平成23年7月入所

【既往歴】

- ・アルツハイマー型認知症
- ・高血圧
- ・左大腿部頸部骨折

【生活の様子】

- ・車椅子で生活している(介助はほぼ全介助)
- ・簡単な発語のみで意思疎通は困難



日中はポータブルトイレで 排泄している



【ポータブルトイレとは・・・】

ベッドから離れることはできるが
トイレまで行けない、または
トイレまでの移動が不安定な人
のために、主として寝室で使用
する便器

両手足に拘縮あり (左側の方が強い)



A様を対象に選んだ理由

- ▶ 今年から訪問リハビリが中止になった

《訪問リハビリがなくなったことで・・・》

- ▶ 車椅子で姿勢が崩れることが多くなった
→ 傾きやのけ反り

- ▶ ポータブルトイレが継続できなくなる可能性がある



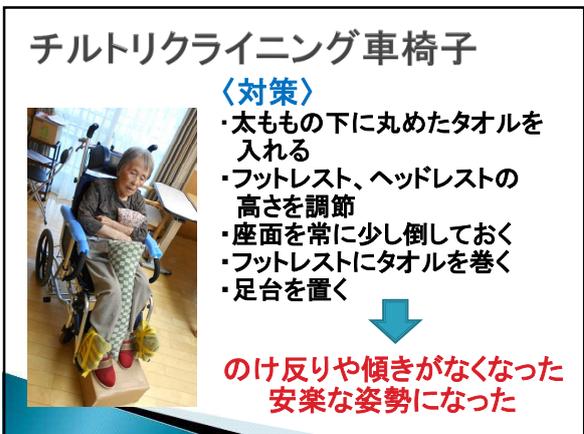
安楽な姿勢で生活したい
ポータブルトイレでの排泄を継続したい



- ### 取り組み
- ▶ ①訪問リハビリの先生と連絡を取る
 - ▶ ②車椅子で姿勢が崩れている際の様子の確認
 - ▶ ③車椅子の検討
 - ▶ ④クッションの種類や当て方の検討
 - ▶ ⑤リハビリの時間や内容の検討

- ### ①訪問リハビリの先生より…
- 〈座位を保つために〉
- ▶ 背筋や体幹を鍛える
 - ▶ 体軸をまっすぐにする **大切!**
 - ▶ 肩甲骨の周りを動かす

- ### ② 姿勢が崩れている際の様子
- 姿勢が崩れている際は写真にとっておく
-
- * 左に傾くことが多い
 - * 徐々にあごが上がり のけ反ってしまう



④ クッションの検討

U字クッション

左腕、足の間



⑤ リハビリ

《リハビリの検討》

(今まで) 排泄毎に立位訓練
午後の排泄時に足の曲げ伸ばし



(変更後) ・排泄毎に立位訓練、座位訓練
・ポータブルトイレ時に前屈運動
・午前、午後に足の曲げ伸ばし
・夕方に腕の曲げ伸ばし

立位訓練

左膝が曲がってしまうため
介護者の膝で押すようにする

まっすぐ
伸びるように!



座位訓練

ベッドサイドで行う
* 背筋や体幹を鍛える

自分で座って
いられるときも!



前屈運動

ポータブルトイレに座っている際に
前かがみになる

* 体幹を鍛える * 腹圧をかける



足の曲げ伸ばし

左足は伸ばすこと
右足は曲げること
→ 重点的に!

リハビリ後



腕の曲げ伸ばし

背中に空間を作って行う

*** 肩甲骨、体幹を動かす**



リハビリを実施することで…

▶ 立位は、左膝の膝折れが伸びるようになった



◎ 排便コントロールがよくなった

▶ リハビリ前…下剤追加して
マイナス5日ほどでの排便



▶ 現在…下剤追加せずに
マイナス2日や3日での排便

実践報告を通して

▶ 他職種連携、ユニットでの知識や技術の共有が重要

安楽な姿勢とは人によって違う



★ **本当にA様にとって安楽な姿勢なのか？
介護者が思っているだけではないか？**

今後の課題

**◎ ご自分で意思表示できない
入居者様の本当の思い、
ニーズは何なのか考える**

▶ 状態に応じたリハビリを再検討する

✿ 現在の様子 ✿



ご清聴ありがとうございました

